



2025年  
5月1日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3  
<http://reinanzaka-sc-trp4tokyo.jp>



No. 6 3

「カブ隊少年たちとの交わりの喜び」 小崎敬子



＜スカウト歴＞  
2006年～2015年  
インストラクターとして  
委任される

間もなく九十歳になろうとする老婆の私が何故スカウトクラブに関係があるのでしょうか。あらためて考える日々です。

霊南坂教会にボーイスカウトが立ち上がったのは、故人となった夫小崎忠雄がまだ中学生で、そのスカウトの数人の一人であった頃でした。その仲間の方々であった故今田富士男兄、故飯田貞雄兄の数人であったと聞いております。その後、夫々が成長し結婚し子どもたちが与えられますと、我が家でも息子、孫、ガールスカウトには孫と曾孫もお世話になる事となりました。スカウトでない私は何をしたかと申しますと保護者としてスカウトたちの遠足や教会で行われます様々な行事に付き添うという役割を与えられたのでした。幸い私は保健婦の資格を持っていたという事で使って頂いたのかも知れません。ここで少し私自身についてお話しさせていただきます。

私たちの結婚は1959年9月犠牲者5千人を超すあの未曾有の伊勢湾台風の救護活動の後、後に夫となる故小崎忠雄が全国から救護活動のために集まる学生や青年の大勢の生活全般の世話をするために、ひき続き、それまで働いていた横須賀キリスト教社会館から被災地名古屋へと派遣されました。私もまた当時勤務していた東京銀行健康管理室から名古屋支店の被災地家族への見舞い応援をするために派遣されました。

名古屋は尾張徳川家の城下町で穏やかな町に、あの未曾有の台風に襲われたのですから、それは大変な出来事だったに違いありません。救護活動は全国各地からの人々の祈りと応援があったのです。救護活動の後、特に被害の大きかった地域の人々からこの困難だった記憶を忘れないために、この地に記念としてふさわしい建物が欲しいという要望があり、後に「社会館」という名にふさわしい建物が与えられました。

それは1日も早く建物が名古屋の地に公に認知されることを願っていたからです。私たちはこの伊勢湾台風終息の一年後、急ぎ結婚しました。結婚後、夫は益々多忙となり名古屋と厚生省を足しげく通うこととなりました。当時は勿論、新幹線もなく本数の少ない急行でそれは大変なことだったと思います。現在のよう新幹線が早ければ日帰りも可能だったのにと笑うことでございます。世の中の発展、進歩は困難もありますが、良き事もあることをよわい90歳にもなると合点することもございます。昔話が多くなりましたが、これにて失礼いたします。終わりにになりましたが霊南坂教会スカウトクラブに多くの子どもたちが集い、益々の発展を心から祈っております。感謝

When you have a difficult job to tackle, ask God to help you to tackle it, and He will give you strength. But you must still do the tackling yourself.



ベーデンーパウエル卿の言葉

難しい仕事に取り組みなければならない時、神に助けをお願いしなさい。そうすれば、神は力を与えてくれるでしょう。しかし、その仕事には自分自身で取り組みなければならない。



## ボーイスカウト・ガールスカウトの活動

### (ボーイスカウト)

#### 「ありがとうございました」ボーイスカウト東京港第1団団委員長 内藤正樹



長きに渡り、スカウト関係者、教会関係者の方々にご支援、サポートしていただきありがとうございました。  
内藤正樹は今年3月を持ちまして、13年間続けてきましたボーイスカウト東京港第1団の団委員長の任を退任することにしました。

今後はスカウト保護者であり、長期に渡り、ボーイスカウトの団委員をしていただいている向殿和弘さんにバトンタッチをいたします。皆様方に、今まで通り、これからも同じく向殿さんを支え、サポートをしていただきたくお願いします。

私は引き続き、団委員、ローバー隊副長として港第1団の団運営の奉仕を続けて行きます。よろしくお願ひします。

私のボーイスカウト活動が始まったのは小学3年生の時に港第1団（当時東京第4団）カブスカウトに入隊した時からなります。当時、隊長は杉原さんでした。CS隊→BS隊→SS隊（現VS隊）→RS隊のスカウト生活を送ってきました。高校時代は剣道部に入部し、主力メンバーになったことで、スカウト活動と両立できなく、大学受験もあり、休隊しました。

大学進学後、RS隊に戻り、スカウト活動を開始しました。その間、第2回日本ジャンボリー（滋賀県 饗庭野）、第4回日本ジャンボリー（岡山県 日本原）、第13回世界ジャンボリー（富士宮 朝霧高原）、SS隊合同移動キャンプ（下田～土肥）、冬季雪中キャンプ、山中キャンプ場、那須キャンプ場での夏季キャンプなど多くの経験、体験をさせていただきました。

キャンプ中に台風の襲来を受け、5泊6日のキャンプで炊飯が出来ず（薪が湿り）、朝食用に購入してあったパンを数回に分けて食べ、あとは水のみで過ごした経験は今では楽しい思い出になっています。30名のスカウトが参加し、5泊のキャンプでまともな食事は3回だけしかできなかったこのキャンプの指導者たちは大変な思いをされたことと思います。

その後、大学卒業、就職した時期から、仕事優先でスカウト活動から完全に離れてしまいました。結婚後、二人の子供たちがCS隊員時代になり、またスカウト活動に戻ることになり、CS隊デンダッド、団委員、CS隊リーダーとなり、子供と一緒にスカウト活動を満喫しました。子供がCS隊、BS隊に上進した時に、仕事で、インド駐在となり、家族全員でインド生

活が始まり、またスカウト活動から離れることになりました。帰国後、スカウト行事（周年記念、スカウトクリスマス、港区民まつり等）に単発で参加していました。

2004年に今田団委員が亡くなられ、2005年より、杉原さんが団委員長に就任されたとき、同時に内藤も副団委員長となり、杉原さんが2012年に団委員長を退任されたあと、内藤が団委員長を引き受けました。

1955年にスカウト活動に入り、途中で抜けたときもありましたが、延べ70年間もスカウト活動に関わってきたこと、皆様のご支援とサポートしていただいたお陰だと深く感謝しています。

スカウト活動は学校等のクラブ活動とは全く異なる活動で、「ひとたびスカウトとなれば、一生スカウトである」と言われていることを内藤は強く実感しています。

皆様もこれと同等の気持ちをお持ちだと思います。2年後に当団創立80周年を迎えます。これを100年、150年と継続していくために、今、しなければならない事は、スカウトの入団募集を行い、所属スカウト数の増大と指導者の育成・リクルートを行う必要があります。皆様の周りで、スカウト活動に興味のある方（保護者。本人）声掛けをしていただき、港第1団を紹介していただき、一度、集会の見学をしていただけるように勧めてください。これからもよろしくお願ひします。



2025年1月11日 BS・GS 合同お餅つき

## (ガールスカウト)

### 「ブラウニーの思い出」

ブラウニー部門 3年 ■■■

入団して3年目、ブラウニー最後の1年間。気がつけば、沢山のお友達が4団に入団してくれ、楽しい週末を毎週のように過ごせています。全ての集会がとても楽しくガールスカウトは「自分らしく居られる場所」となりました。全てが良き思い出です。

中でも夏のキャンプで、パトロール関係無く1年生から3年生まで、心置きなく思い切り遊べ、笑い合えた事は格別に良い思い出となりました。

一番の思い出になったのは、全部門での合同キャンプでしたので100名近いリーダーやスカウトが参加する中、キャンプファイヤーの予定が豪雨の為、キャンドルサービスとなりましたが、団委員長でさえこれまで見た事の無い、大きな木の根で作られたキャンドルセットがとても美しく、その姿に瞬時に心が引き込まれました。火の灯火を見つめていると心が温かくなり感動しました。

キャンドルサービス中、ブラウニーはお馴染みの朝は心清くの替え歌を披露したのですが、団の皆に見守られたその温かい空間の中で行う出し物も、これまでとはまた一味も二味も違いました。

この素晴らしい環境が4団の色なのだなと改めて感じると共に、私もこんなスカウトで有りたいと心から思いました。



### 「春キャンプの思い出」

ジュニア部門 4年 ■■■

3月28、29日に、わたし達ジュニアは神奈川県相模原にある「藤野芸術の森」に一泊キャンプに行きました。

わたしは去年入団して、この1年でリーダーやスカウトのみんなにいろんな事をたくさん教えてもらいました。活動がとても楽しいので、この春キャンプもすごくワクワクしていました。

電車とバスで移動し、開会式、お庭遊び、ご飯、音さがし、パトロールやお風呂、どの時間もずっと楽しかったけどやっぱり一番の思い出は工房体験です。土でプレートを作りましたが、わたしはどんな形にしようか考えていたらあっという間に時間がなくなりました。来月に届くようで出来上がりが楽しみです。他にハートのガラスに砂を使って自分の名前を書いて手作りのお皿も作りました。

きれいに出来たので何を入れようかな～。

もう一つ、ジュニアナイトも大切な思い出です。チームのみんなと協力して宝探しクイズや風船を使ったゲームをしました。風船のゲームは、お腹で風船を二人で運ぶゲームでとてもむずかしかったけどがんばりました。たくさん笑ってみんなと仲良くなれて、このキャンプでもリーダーや上級生から教えてもらって出来る事も増えて良い経験となりました。

### 「この一年の集大成の🍀キャンプ」

シニア部門 ■■■

今年度、私はシニアで1年間ハワイについて学んできました。なぜハワイについて学ぶことになったかというのと、今年度の初めに「年度末の春キャンプでハワイアンズに行く」という目標をたてたからです。そのために行ったことは、調べ学習や資金稼ぎです。特に印象に残っている活動は資金稼ぎです。クッキーやココア、ポテトチップスを手作りし、教会バザーやワールドシンキングデイで販売し、多くの方に購入頂きました。販売するものの案出しをしてから、材料費を調べ、値段や作る個数を考えました。リーダーのサポートをいただきながら自分たちだけで考えるということはほぼ初めてに近い経験で、最初は時間がかかってしまうことが多くありましたが回数を重ねるにつれコツを掴んできて、予定よりも資金稼ぎを多く行うことができました。

教会は色々な年齢の方が利用するので、誰が見ても買いたいと思っていただけるように工夫しました。特に、教会バザーで販売した白玉では、味付けをあんことサイダーの2種類用意したことで、幅広い年代の方から購入頂きました。

もっと作る効率を上げる必要がある、原材料費削減の工夫が必要、など課題も残りましたが、毎回完売できたおかげで、最終目標だったハワイアンズを楽しむことができました。事前学習で行ったフラダンス体験を経ての生のフラダンスや、実際に食べるロコモコやマラサダ、非日常空間での経験はとても思い出深いものになりました。レンジャーになってもシニアでの経験を活かし活動していきたいです。



### 「レンジャー活動を通して成長した事」

レンジャー部門 高2 ■■■

レンジャーの活動を通して私が成長したことが二つあります。一つ目は何事にもチャレンジできるようになりました。レンジャーになってから上級救命講習会や、団の外での活動にも自主的に参加しました。私はその活動を通して沢山の友達ができ、またその友達を誘って他のイベントにも参加し、活動の幅を広げることが出来ました。

そんな私のガールスカウトでの友達は、学校の友達とはまた違う特別な存在で年齢も住む場所も違うけど同じガールスカウトで、お互いの価値観を認め合える素敵な友達です。この友達との出会いはガールスカウトをやって良かったと思わせてくれました。

二つ目は年下との関わり方を学びました。団の小学生の子達と活動したり、幼稚園生も来るイベントに参加した事で相手の目線に立って話す事の大切さや分かりやすく伝える工夫をする力が身につきました。小さい子との関わり方を学べたのは私の将来の夢とも繋がり、とても良い経験となりました。レンジャーの2年間を通して今までよりもっとガールスカウトを通じた学びに気づくことが増え、やっていた良かったと感じる機会が沢山ありました。

ガールスカウトをやって良かったです。

## 「スカウト活動とその後」

## 小池四郎



＜スカウト歴＞  
 1960年カブスカウト入隊  
 1973-75年シニアスカウト  
 リーダー

私がカブスカウトに入隊したのは昭和35年頃だと思います。当時、私は麻布市兵衛町に住んでいて、麻布小学校に通っていました。入隊への経緯は記憶していませんが、母の存命中に私が4人兄弟の末っ子で、兄とも歳が比較的離れていたもので、甘えないように鍛えてもらうために入れたと話していました。

カブスカウト時代では、隊長の杉原さん、デンマザーの萩原さんをはじめ様々な方にお世話になりました。成長してからお世話になった方々にお会いする機会があった時、そこには小学生に戻った私自身がありました。それだけ、カブスカウトの活動が親から離れたところで、合宿をしたりハイキングをしたりと、当時の私には自立への第一歩であり、親代わりに面倒を見てくれたデンマザーに今でも強い記憶が残されていることなのだと思います。

ボーイでは山中湖の日本ジャンボリーのキャンプ地、朝霧高原の酷暑の中でのテント生活が思い出されます。シニアでは妙高高原の雪中キャンプでアーミーテントの中で雪上にエアマットを敷いて寝て寒かったこと、一斗缶で作ったカマドが雪の上で傾きご飯が炊けなかったこと、馬籠の移動キャンプでは干上がっていた川底にテントを張り、夜中に雨が降ってきて水浸しになったことなど、失敗して大変な思いをしたことが懐かしく思い出されます。大学生になってシニアのリーダーを渡辺兄、原兄と一緒にやらせていただき、色々夜遅くまでスカウト活動や学生生活について話したのがついこないだのように思い出します。大学2年以降は学校での活動が忙しくなり、ボーイスカウトのリーダーからは離れてしまいました。



(シニア：妙高高原の雪中キャンプ)



(合同バスハイク)

それから半世紀たち、私も仕事を7年前に定年退職し、大学院で学び直しをして、カリタス東京という組織で昨年まで働いていました。カリタス東京での活動について少し触れさせていただきます。

私は子供たちがカトリック学校に通っていたこともあり、1999年にカトリックの洗礼を受けました。団歌にある「人を助ける、僕たちスカウトの小さな愛のわががこの世に平和をもたらす」の精神が心の奥底にあったのでしょうか、退職後に大学院で貧困問題をテーマとして研究しました。修了後、カトリック系の社会福祉団体のネットワークを作る目的で、カトリック東京大司教区の組織として立ち上げられたカリタス東京に参画しました。カリタスという言葉は、ラテン語で「愛」、「愛のわが」を意味します。東京大司教区というのは、カトリック教会の行政区のようなもので、東京都と千葉県にある約70の教会をまとめている組織です。

東京教区内には把握できているだけでも、約140以上のカトリック系の団体・拠点・グループが生活困窮者支援や子供の生活支援等様々な福祉活動をしています。生活困窮者支援としては、山谷地区における「山友会」や「ほしのいえ」などが古くから日雇労働者支援をしています。また、四ツ谷駅前のイグナチオ教会で毎月曜日の朝にカレー弁当を200個以上配布しているカレーの会、毎土曜日に日比谷公園や銀座方面へアウトリーチをしている「四ツ谷おにぎり仲間」等の信徒の活動グループが様々な教会で活動しています。一方、児童福祉分野では、戦前、結核やハンセン病療養所に入所した患者やその子供の養育を、また、戦後には戦災孤児らの保護と養育を神父が見る様になりました。その関係で、東京サレジオ学園を初めとするカトリック系の児童養護施設や乳児院が多く存在しています。日本の児童養護の歴史にカトリックは深く関わってきました。

障害者の施設は比較的少ないのですが、千葉県の旭市にはロザリオの聖母会が運営する地域中核施設や足立区梅田に障害者児童の施設があります。外国人の支援については、カトリック東京国際センターが食料支援と生活相談をおこなっています。カトリックの活動も、山谷において、プロテスタントの牧師が始め入っていて、それから教わりながらカトリックが入った等、今でも様々な場面でプロテスタントと協働している現場が数多くあります。そこには共通する神様の「愛のわが」の精神があるのだと感じています。



昨年スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼路を夫婦で10日間かけて歩きました。

## 「イタリアピエラから」



＜スカウト歴＞  
1958年G. Scout  
東京第4団入団  
1965～67年ブラウニー  
正リーダー

北イタリアのピエモンテ州、ピエラという小さな田舎町に住んで40年余りになります。ミラノからトリノに向かうロンバルディア平原を走る高速道路を途中から、山に向かって行くと、山裾の小さな町に行き着きます。

※ピエラは古くから毛織物産業が盛んな土地、今でも、年2回、ミラノで開かれる毛織物の見本市には、ピエラの老舗生地メーカーが出店しています。この町も、日本の田舎町と同じように、少子、高齢化、人口減少が問題になっていますが、一方で、外国人労働者の移民が増え、それはまた、別の問題が発生します。

それとは全く関係なく、ピエラはスイス、フランスアルプスに近い町、景色だけは自慢出来ます、毎日変化する景色を見るのが私の楽しみ。



ピエラ：冬、雪はありません



去年11月末の雪景色、初雪です



八重桜が、今咲きだし  
残雪の山との景色がまさに春!

いまは、スマホのカメラを愛用し、写真を取っています。但し、ここ十数年、地球温暖化の影響であまり雪が降らなくなりました。私達がこの街に住み始めた頃、冬は街にも積雪が多く、子供達は、お昼で学校が

## 森田真知子（旧姓：栗原）

終わり、家でお昼ごはんを食べたら、スキーを担いで、家の下のバス停に、そこから、スポーツクラブのバスでゲレンデまで(1時間弱)、午後たっぷりあそんで、また、家の近くまで送ってもらうという楽しみがありました。それは昔話になってしまいました。

私が、スカウト活動に入るきっかけは、黒部牧子リーダーの元で活躍していた、中学からの仲良し、菅野さん内山さんの影響、楽しそうに、いきいきとした姿を見て、“私も”と。寒い冬でしたが高尾山の薬王院で、リーダー研修を受けて、霊南坂上級スカウトの一員に加えてもらい、その直後、レンジヤースカウトが出来てそこで私も、レンジヤースカウトとなりました。レンジヤースカウトでの活動は沢山の楽しい思い出ができました。そして、そのスカウトの繋がりは今も続いています。

去年10月に帰国した時に、丁度霊南坂教会でパイプオルガンの演奏会があると、矢澤さんから誘われ、久しぶりに教会へ、昔の面影探しながら、バスを降りて教会まで行きました。礼拝堂のステンドグラスを見て、パイプオルガンの響きに心を満たされた時間は今も心休まる思い出。そして、その後は、矢澤さんの提案で昔のスカウト仲間の 針替知恵ちゃん、伊藤由紀ちゃん、堀越紀代さんの5人での会食、お喋りしながらおいしいランチも味わい、時間があっという間に過ぎて、さよならするのはなんとも心残りでしたが、また、“頑張って、東京に里帰りをする”と、そう言う思いが私のエネルギーになって、ピエラぐらしを支えている様です？

ヨーロッパは今、カーニバルシーズン、スーパーには、仮装の衣装や、紙吹雪、紙テープ、イタズラおもちゃと並んでいます。子供たちだけでなく大人も、小さな村では村人皆が参加して楽しめます。町中を歩いている時、不意に足元で爆竹が破裂、ビックリさせられるので、この時期は、若者が屯(たむろ)している所は近寄らない様に、要注意。

世界の国々が平和で自由に行き来出来る世の中とは、今は言い難いですが、せめて、スカウト活動が当たり前前に何処でも出来ることを願って、霊南坂スカウトの発展を祈っています。



堀越・矢澤さん、針替・伊藤由紀さん

※桐生市とピエラは姉妹都市との事です。

# 霊南坂スカウトクラブ 告知板

## スカウトとSDGs活動

「自分達にも出来る省エネは何？」への回答

### 1, 経緯

21年SDGs MTGでSCからCO2削減 or ゼロの為に再エネ・省エネのプレゼンをしました。そのプレゼンの中で脱炭素に於ける省エネの効果と重要性が極めて大きい事を説明し、省エネを先進的に行っているTBSを2023年1/13に見学しました。見学後Q&Aで「自分達にも出来る省エネ」を教えてくださいとの要望がありましたのでお答えしました。

### 2) 内容

#### ①省エネの考え方・やり方

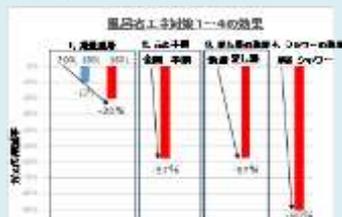
- ・CO2削減はまず省エネ、並行して再エネ、CO2吸収(植樹等)
- ・機能&快適を維持しつつ、楽しく続ける事。→我慢では続きません
- ・高価にならない事→元(償却)がとれない。
- ・下記の様な本が図書館の児童書にたくさんあります。調べてみましょう→正確簡単明瞭に書かれています。



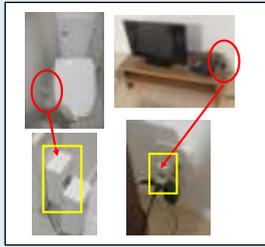
詳細：最新 Topx  
2023/9/13 参照下さい

#### ②私のエコ照会

- i) 節水：お風呂かシャワーか
  - ・シャワーです。
  - ・検討したのは以下です。
- 1,お湯の量 200 と 160L  
→160L：20%エコ
- 2,フタ全開と半開  
→半開：50%エコ
- 3,新湯と足湯→足湯：57%エコ
- 4,夏：風呂とシャワー  
→断トツシャワー  
→試算 90%減、実際 70%でした



- ii) 節電：こまめに電気を切る
  - ・家には家電を直ぐ使える様に沢山の待機電力(未使用時消費電力)があります。



元電源 SW 約 300 円で安いですが  
※待機電力は年電気代の約 5% で大きいです。

- iii) 移動→徒歩/自転車/公共交通
- iv) 資源→空缶/古着のリサイクル
- v) 食料→フードロス低減
- vi) CO2 吸収→植木/菜園作り
- vii) スカウトは※エコな遊びをしよう&教えよう!

※化石エネルギーを使わない遊び  
★しっぽ取り



スカウティングゲーム集に沢山あります。率先してしましよ  
<http://www.bs-ami1.net/00member/OGE/GameR.pdf>:

### ★中標津ゴードチーズ★ご紹介

2024 年教会バザーよりスカウトクラブが販売を担当しております。  
日本キリスト教団中標津伝道所・教会員 10 名の教会をお支える為にチーズ代の一部を献金させて頂いております。



メリークリスマス！！  
いつもチーズ注文、ご支援下さり感謝します。私達小さな群れですが、希望の光を信じて新しい年を迎えたいと思います。

### 【スカウト催事予定】

- ・教会バザー「ルバーブジャム」製造 @軽井沢：8/末予定：参加者募集中
- ・SC会報 64 号発送：12/初予定
- ・スカウトクリスマス礼拝：12/中予定

### 会費の納入をお忘れではないですか？

スカウトクラブは現団への支援、会報印刷、通信費など、皆様の会費とバザーの収益金、賛助金で運営しています。毎年の納入をお願いいたします。

年会費：3000 円/年

家族会員：2000 円/年

入会金：1000 円/入会時のみ

### 振込先「ゆうちょ銀行」

00170-4-765234

他行からの振込みの場合は下記宛てにお願い致します。

銀行名：ゆうちょ銀行

店名(店番)：ゼロイチキューウ(019)

預金種目：当座

口座番号：0765234

口座名称：霊南坂スカウトクラブ

### [霊南坂スカウトクラブ役員]

会長	西郷崇子
副会長	田中新二
会計	白井純一
総務	高玉 大塚田洋子
書記	檜垣君子、西谷芳美
通信	小田島典子
会報・団	矢澤宏子
会報	渡辺 博
H.P	白井純一
教会・団	向殿和弘
	ボーイスカウト団委員長
	古谷久代
	ガールスカウト団委員長
監査	五十野和男

### [2025/2/16：総会結果]

- 1号議案：2024 年度 事業報告  
全出席者これを賛成：可決
  - 2号議案：2024 年度決算報告書：  
監査役から適正処理されているとの報告有り：全出席者これを賛成：可決
  - 3号議案：2025 年 事業計画：以下意見を含め全出席者これを賛成：可決  
教会バザー「ルバーブジャム」を製造 100~150 個@軽井沢予定
  - 4号議案：2025 年度予算案：以下意見で訂正、全出席者これを賛成：可決  
・2025 前年度繰越金表記ミスあり、184,744 円×→28,255 円 に修正
- 他議事：SC は今年設立予定の 80 周年準備委員会に参加し情報を得る事で合意